

# 健康管理支援の評価の方法と各自治体の 特性に応じた役割分担のあり方

# 特定保健指導で実施している保健指導の評価方法（参考）

## ストラクチャー （構造）

保健事業を実施するための仕組みや体制を評価するもの。

### 【具体的な評価指標】

保健指導に従事する職員の体制（職種・職員数・職員の資質等）、保健指導の実施に係る予算、施設・設備の状況、他機関との連携体制、社会資源の活用状況など。

## プロセス（過程）

事業の目的や目標の達成に向けた過程（手順）や活動状況进行评估するもの。

### 【具体的な評価指標】

保健指導の実施過程、すなわち情報収集、アセスメント、問題の分析、目標の設定、指導手段、保健指導実施者の態度、記録状況、対象者の満足度など。

## アウトプット （事業実施量）

目的・目標の達成のために行われる事業の結果を評価するもの。

### 【具体的な評価指標】

健診受診率、保健指導実施率、保健指導の継続率など。

## アウトカム（結果）

事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標を評価するもの。

### 【具体的な評価指標】

肥満度や血液検査などの健診結果の変化、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群、死亡率、要介護率、医療費の変化など。

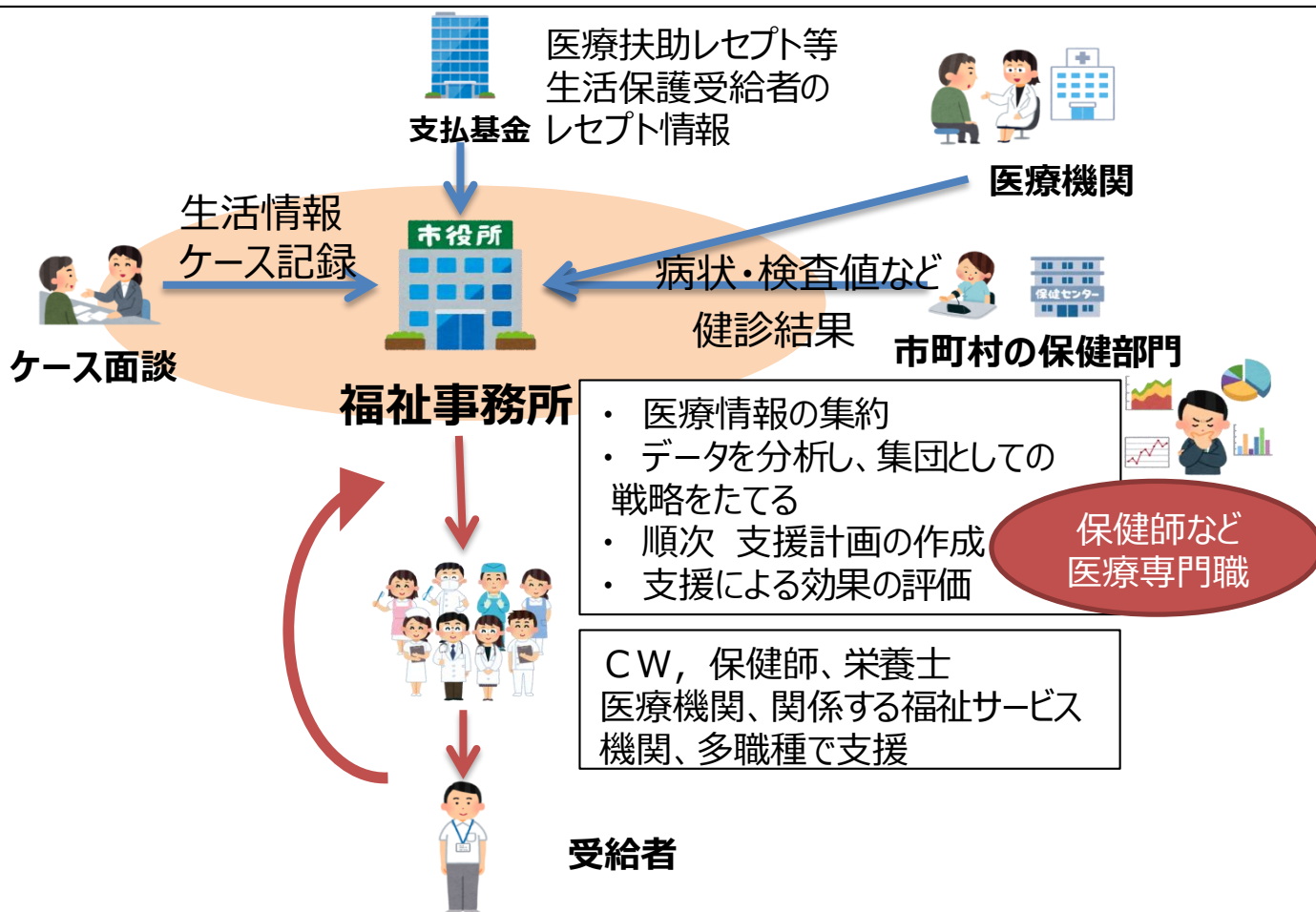
# 生活保護の健康管理支援の効果の評価項目の例（素案）

- 効果の評価は年度ごとの中間評価と、数年単位の最終評価を行う。
- 共通の基本的評価項目を定めるとともに、福祉事務所の判断により追加的な評価項目と評価時期を定める。

	ストラクチャー	プロセス	アウトカム
個人		意欲の向上、知識の獲得、運動・食事・喫煙・飲食等の行動変容、定期的な受診と服薬、会食サービスや健康教室などへの参加、規則正しい生活 等	検査データの改善、禁煙、飲酒行動の変化、就労の開始 等
集団		健診受診率、要医療者の医療機関受診率、要医療者の受診継続率、健康教室の参加率、ハイリスク者・要医療者の割合の減少、透析導入者数の減少 等	ハイリスク者・要医療者の割合の減少、透析導入者数の減少 等
事業	社会資源の有効・効率的な活用状況、集団としてのデータに基づいた健康に関する戦略の作成状況、関係機関との連絡調整会議の開催、健康教室・相談室の開催 等	受給者の健康関連データの入手状況、主治医への病状聴取状況、個別支援計画の作成状況、健康支援のための家庭訪問の回数、健診への受診勧奨や医療機関への受診勧奨の状況 等	全体の健康状態の改善、医療費適正化効果 等

# 健康管理支援モデルケース（福祉事務所内で行う場合）

- ケースワーカーや医療専門職などが受給者の必要な医療・健康情報を収集する。
- 福祉事務所に配属されている保健師等の医療専門職が、データの分析に基づいた集団としての健康管理戦略を作成し、順次個別支援計画を作成する。
- 福祉事務所内の医療専門職やケースワーカー等の多職種、保健センター等や福祉サービス機関等の関係機関と連携し支援を行う。
- 支援後、福祉事務所として効果の評価を行う。



# 健康管理支援モデルケース（事業委託する場合）

- ケースワーカーが受給者の必要な医療・健康情報を収集する。
- 外部の事業者へ委託し、マニュアルに基づいた支援対象者の抽出や個別支援計画の作成を行う。
- 個別支援計画に基づき、健康管理支援事業者等が支援を行う。
- 支援の効果評価を外部事業者等が行い、福祉事務所に報告する。
- 福祉事務所としての事業の評価を行う。

